

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

7月に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「トウダイグサ科 アカメガシワ」☆
林縁など明るい所に多い落葉高木。幼果がたわわに実っている。9-10月頃、褐色に熟し、3-4裂して黒紫色の種子を出す。



☆「ツバキ科 ヤブツバキ」☆
この実の中に3-5個の種子が入っている。自然塾ではこの種子を使って椿油搾油体験を行っている。



☆「クワ科 イヌビワ」☆
雌雄異株の落葉小高木。ビワではなくイチジクの仲間。8-9月頃、黒紫色に熟し雌株の実を食べられる。



☆「アオイ科 ハマボウ」☆
暖地の海岸や河口に咲く落葉低木で、防潮林になる。花は1日でしぼむ。多くの県で絶滅危惧種に指定されている。



「ユリ科 ウバユリ」
山野の湿った林内に自生する。筒のような細長い花を横につける。葉の形も他のユリと違ってハート型。



☆「ヒガンバナ科 ハマオモト」☆
暖地の海岸沿いに生える常緑多年草。一般にはハマユウと呼ばれている。花は強い芳香を発する。



☆「ユリ科 オニユリ」☆
古い時代に渡来したと言われる。種子は作らず葉の基部にムカゴを作る。日本ではムカゴをつけるユリは本種のみ。



☆「アヤメ科 ヒメヒオウギズイセン」☆
南アフリカ原産の多年草。繁殖力も旺盛で全世界で野生化している。遊歩道沿いでよく見られる。



☆「シソ科 アキノタムラソウ」☆
山野の道端などでよく見かける多年草。秋の名が付けられているが夏から咲き始める。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

宇久井半島では様々な花や果実、キノコや昆虫などを観察することができます。
皆様のお越しをお待ちしております(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2020年7月後半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 夏版

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜 (上地の浜)

松尾展望広場

外の取

フェリーターミナル方面
通行できません

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

上野展望台

敵船監視場跡

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タブノキ

木のすき間から浜が見えます。

ヤブツバキ

ヤマモモ

至休暇村

トベラ

ビジターセンター

ヤブツバキ

アキグミ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

ヤブツバキ

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

沢

竹林

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段